

1 日 時 平成23年 1月20日(木) 13:30 ~ 15:30

2 場 所 メルパーク広島 5階 椿の間(広島市中区基町6-36)

Tel (082)222-8501(代) <http://www.mielparque.jp/hrs/hrs01.html>
公共交通機関でのご来場にご協力下さい。

3 内 容

講演1

演題:「電波政策の現状と課題」

～ ホワイトスペースなど新たな電波の有効利用方策について ～

〔 ・電波新産業創出戦略、ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の有効利用による経済効果等についてご紹介させていただきます。(※参考1) 〕

※1 ホワイトスペース

例えば、日本全国の地上デジタル放送チャンネルとして13～52チャンネルが割当てられているが、このうち東京タワーからは20～28のチャンネルを使用しているだけであり、それ以外のチャンネルは東京タワーを送信場所とする地区では放送に使用されていない。このように、各地域ごとに、その地域で放送用に使用されていないチャンネルがあり、諸条件によって商店街の情報発信や、地域住民向け情報配信、災害情報の配信等放送以外の目的にも利用可能な周波数のことをホワイトスペースという。

講師:総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 周波数調整官 平松 寛代 氏

講演2

演題:新しいかたちでの「放送と通信の連携」への取り組み、今後の展開について

～ 放送から街頭メディアへ、そして携帯電話がシームレスに ～

〔 ・ベンチャー企業であるストリートメディア(株)では、地デジ放送を利用して、番組コンテンツを自社開発の次世代型インフォメーションであるデジタルサイネージ「TOUCH!ビジョン」へ配信し、その情報を携帯電話でも取得できるようにするなど、様々なマーケティングトライアルを行っています。本講演会では、「TOUCH!ビジョン」を東京神田の商店街に設置して実施した実証実験について、放送波を有効利用した通信連携のビジネスモデルの先進事例としてご紹介させていただきます。(※参考2) 〕

※2 デジタルサイネージ(電子看板)

屋外・店頭・交通機関などの公共空間で、ネットワークに接続されたディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。設置場所や時間帯によって変わるターゲットに向けて適切にコンテンツを配信可能であるため、次世代の広告媒体として注目を集めている。

講師:ストリートメディア株式会社 代表取締役 大森 洋三 氏

4 対象・定員等 一般 100名程度 参加費無料

5 主催等 主催：総務省中国総合通信局、中国経済連合会 協賛：中国情報通信懇談会

6 参加申込み等

(1) 申込方法：e-mail またはFAXにて、以下の内容を記入のうえ、お申し込みください。

- 件名：「放送と通信の連携に関わる講演会」参加申込
- メール本文：参加者氏名／所属(会社・団体名等)／連絡先電話番号
 - ・ 講演会へのお申込みは先着順とさせていただきます。
 - ・ 参加予定人数に達した場合、参加をご遠慮いただく場合がございます。

(2) 申込先・お問い合わせ先

中国総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課

(e-mail) renkei-rd@soumu.go.jp (FAX) 082-502-8152

(電話) 082-222-3471、3481

※ 参加申込に際しお知らせいただいた個人情報については、本講演会の参加申込の確認や緊急の連絡以外には利用しません。本講演会終了後には、速やかに処分いたします。

ホワイトスペースの活用など新たな電波の有効利用の促進

新たな電波の有効利用による快適元なまちづくり

- 地域のタウン情報やイベント情報などコミュニティ向け情報を市役所や郵便局など地域の拠点を活用して提供。
- ショッピングモールや商店街のイベントや地域の店舗情報を提供。
- 災害や事故の発生時に関連情報を緊急放送。
- 大学を拠点として近隣の地域住人対象に対象エリアの活発な情報ネットワークを構築(カレッジ・ワンセグ放送局)。 など

地域の絆の再生



ホワイトスペースなど 新たな電波の有効利用

暮らしを守る雇用の 創出

環境負荷の 軽減

新たな電波の有効利用による 新産業創出

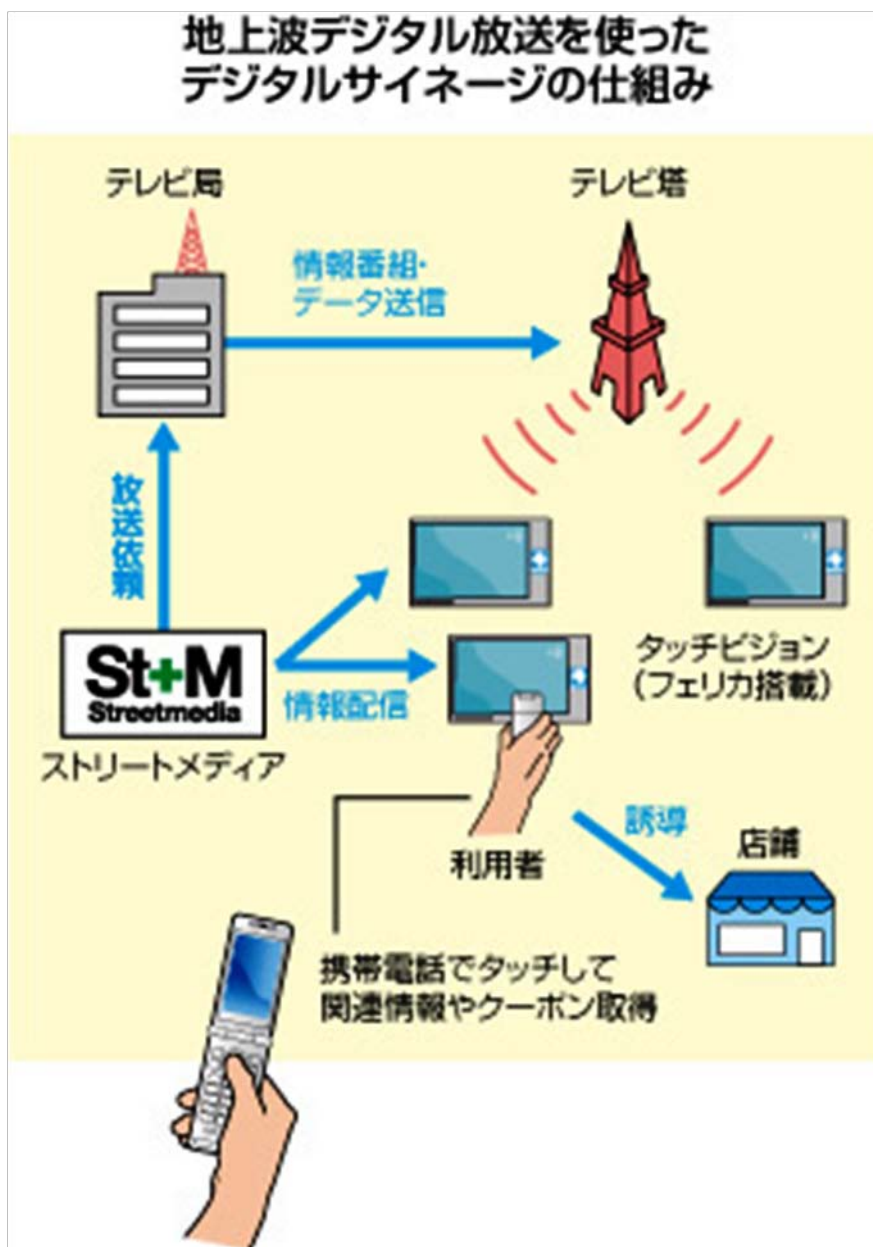
- 観光情報などナビゲーションサービスをロケーションフリーで提供。
- 地下鉄やバス停などの交通機関などでエリアワンセグやデジタルサイネージなどにより広告やクーポン情報を配信。
- 家庭内の情報伝送や家庭内機器間のデータ伝送を実現。
- 臨場感あふれるスーパーハイビジョンを活用したシアターやパブリックビューの展開。 など

新たな電波の有効利用による グリーンICT

- センサーネットワークによりエネルギーグリッドと情報グリッドを統合し、エネルギー地産地消モデルを確立。
- 河川などの自然環境を把握し、ダムなどの水利施設を制御する遠隔モニタリングシステムを実現。
- 紙メディアのデジタル配信によるペーパーレス化の実現。 など

期待される経済的効果・社会的効果





実証実験の概要

東京都千代田区神田地域の商店街や地区内の店舗や街頭等に、デジタルサイネージ「Touch!ビジョン」を設置。「Touch!ビジョン」に向け、地域情報番組をTOKYO MXのデジタル第2チャンネルで配信いたしました。

加えて、「Touch!ビジョン」に流れる店舗情報の映像放映時に、携帯電話で「Touch!ビジョン」にタッチすれば、その店舗の「道案内情報」や「セール情報」等を簡単に携帯電話に取得することができ、より多くの人々の来店や、売り上げの向上に結びつくことが期待できます。また、「Touch!ビジョン」に携帯電話をタッチする人々の動きや志向をリアルタイムにフィードバックできるため、強力なマーケティングサービスとしても活用できる新しい双方向コミュニケーションを行っています。